

プロフェッショナルプリント事業



市場環境認識

機会

- オフセット印刷などのアナログ印刷からデジタル印刷へのシフトが加速。
- 商業印刷ではマーケティング手法の個別化・短サイクル化が進展、産業印刷では世界的な人口増加とプライベート／ローカルブランドの増加にともなう小ロット化が進展することにより、パッケージやラベル印刷の需要が拡大。
- 印刷会社での熟練工不足や環境への配慮の高まり。

リスク

- 地政学的なリスクや景気変動による印刷需要の低下や印刷会社の設備投資意欲の低下、意思決定の長期化。

市場成長率

デジタル印刷	商業印刷	+4%
	ラベル印刷	+6%
	パッケージ印刷	+20%

※当社推定

前中期経営計画の振り返り

プロダクションプリント事業は、新型コロナウイルス感染症拡大による需要低減や、トナー工場爆発事故の影響にともなうトナー供給能力の低下で2020年度と2021年度は売上が低下しましたが、2022年度には2019年度の水準まで回復しました。また、市場投入したHPP（ヘビープロダクションプリント機）は短期間で大きくシェアを伸ばし、ノンハードの売上伸長率も計画通りに推移しました。

産業印刷事業は、ラベルやテキスタイルなど人々の生活に密着した領域にて、印刷のデジタル化の波を捉え、インクジェットデジタル印刷機「Accurio Jet（アキュリオ ジェット）KM-1」やラベル印刷機を中心に売上が大きく成長しました。

マーケティングサービス事業は、構造改革により収益性が改善しました。

前中期経営計画の設定KPIと結果

	FY22目標	FY22実績
HPPシェア	40%	36%
ノンハード対前年売上高伸長率		
プロダクションプリント	+5%	+13%
産業印刷	+12%	+25%

新中期経営計画における戦略

基本戦略

プロダクションプリント事業と産業印刷事業を強化領域と位置づけ、アナログ印刷からデジタル印刷へのシフトの阻害要因の最小化を目指します。具体的には、印刷工程全体や印刷物のサプライチェーンにまでスコープを広げて、デジタル印刷の普及を加速し

ていきます。それにより、印刷現場の働き方の変革と、印刷会社の顧客の要望の充足を通じて、人々の働きがいの向上に貢献します。あわせて、印刷のライフサイクルの各プロセスにおけるロスを低減し、環境負荷の低減を図ります。(→P31)

マーケティングサービス事業は、自社戦略との適合性も考慮し非重点事業とし、成長実現に第三者資本の活用も検討していきます。

プロダクションプリント

印刷の費用対効果の最大化と環境負荷の最小化に資する仕組みやビジネスモデルをブランドオーナーや印刷会社と共創することで、印刷会社の業務プロセス効率化、印刷現場の省力化に貢献します。これにより、印刷会社のデジタル印刷活用意欲を高め、大量の印刷需要が見込めるHPPの市場設置台数の拡大を図り、持続性が高いノンハード収益を拡大していきます。

らに、圧倒的なトップシェアを持つ成長市場(中国・インド)でも販売を拡大し、収益性の高いノンハード収益拡大の基盤を構築していきます。

【戦略を支える強み】

- アナログ印刷の製版用フィルムや校正印刷機を販売してきたことにより、印刷業界の望む画質を熟知。
- オフィス用複写機で培った電子写真方式を商業印刷に持ち込み、デジタル印刷の市場形成をけん引。
- センシングの物体色計測技術を活用し、自動品質最適化機能・自動検品機能を業界でいち早く市場投入。(→P38)
- デジタル印刷分野の知的財産の蓄積により参入障壁を高め、業界をリードするポジションを堅持。

戦略的KPI(2022年度比)

	2025年度目標
HPP MIF*装置数	+170%

* MIF: Machines in the Field 稼働装置数

また、HPP、MPP(ミッドプロダクションプリント機)を中心に搭載していた自動品質最適化機能・自動検品機能「IQ-501」の搭載をLPP(ライトプロダクション機)にも拡大。生産効率向上と省力化を訴求し、先進国の中小印刷会社のトップシェアを維持します。さ

産業印刷

UVインクジェット印刷機「KM-1」の販売体制を強化し、印刷会社に生産性向上を訴求することで、新規の中・大手印刷会社を中心とした顧客基盤を確立していきます。また、印刷前後を含む作業効率の向上と品質の満足度を両立するサービスの提供によってプリント量を伸長させ、収益基盤の安定化を図ります。さらに、デジタル加飾印刷機を組み合わせた印刷プロセス全体を支援するトータルソリューションの訴求により、販売を拡大していきます。

いきます。テキスタイル印刷機については、プリント工程における環境負荷を低減できるモデルを拡販します。これらによりノンハード売上を大きく拡大していきます。

【戦略を支える強み】

- メカ・エレキ・ソフト・化学・物理などさまざまな分野の高度なすり合わせ技術を蓄積。
- 各種の印刷方式を用いてさまざまな印刷メディアへの高画質印刷を実現。
- 独自のHS (High-definition, Single-pass) インク技術により、プラスチックを含むさまざまな印刷媒体に高品質な印刷を可能とし、デジタル印刷機の課題であった生産性(速乾/両面対応、大判化、高速化)と色の安定性を向上。
- 商業印刷で培った顧客開拓力。

戦略的KPI(2022年度比)

	2025年度目標
ノンハード売上高伸長率	+110%

またラベル印刷機においては、画質・生産性を向上させたモデルを投入し、従来の中規模業者から大規模業者へと販売を拡大して